



ポリクリック
シリーズ

ウッドディングコアドリル

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。

△ 警告 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容

△ 注意 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽症を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容

警告

- ①無理な姿勢で作業しないで下さい。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。高所作業時には安全帯着用等の安全衛生規則に則った作業をしてください。
- ②作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まれないようにしてください。
- ③目に切粉が入らないよう、保護メガネを必ず着用してください。また、粉じんの多い作業では、粉じんマスクを併用し、騒音の大きい作業では、耳栓やイヤーマフ等防音保護具を着用してください。
- ④指定された用途以外に使用しないでください。また、改造や分解は絶対にしないでください。
- ⑤作業中は振り回されないように、電動工具を両手で確実に保持してください。
- ⑥高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意してください。
- ⑦カッター、センタードリルの着脱時は、ばねにより押し出される構造になっています。落下・破損に注意してください。高所作業では特に注意してください。
- ⑧穴あけ直後のカッターや切削片は熱くなっています。火傷をしないよう保護手袋等を着用してください。ただし、カッター回転中は巻き込まれる危険がありますので、保護手袋は着用しないでください。
- ⑨カッター及びセンタードリルの着脱時は、保護手袋を着用し、刃先やセンタードリルでけがや火傷をしないように、注意してください。
- ⑩カッター着脱時ストッパーは、ばね力で強く押し出されますのでシャンクとストッパーの隙間に手や指を挟まれないように注意してください。
- ⑪製品の着脱時は電動工具の電源を必ずコンセントから抜いて作業を行ってください。
- ⑫ご使用になる電動工具の「取扱説明書」をよく理解された上で、ご使用ください。

注意

- ①使用する製品・サイズにあった電動工具を使用してください。
- ②電動工具は回転モード以外で使用しないでください。ハンマー（打撃）・振動モードでの使用はカッター及びセンタードリルの破損原因となります。
- ③穴あけ途中は、絶対に回転を止めないでください。(刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります。)回転を止める場合は、カッターを穴あけ対象物から引き抜いた後で止めてください。途中で回転を止めた場合は、回転を止めたままゆっくりカッターを引き抜いて下さい。
- ④切削片がカッターから出にくい場合はカッターをシャンクから外し、棒状の物で刃先側へ押し出してください。
- ⑤1穴毎にカッター内の切削片、切粉を取り除いてから作業をしてください。
- ⑥深穴等の穴あけで切粉の排出が悪くなった時は途中で切削片を折り、取り出した後作業を続けるとスムーズに作業が行えます。切削片が折れない時はバックモーションを行いながら穴あけをしてください。

本製品について

● 用途（被削材）

- ◎適合材：金属系サイディングボード・窯業系サイディングボード・木・集成材・石膏ボード・ベニヤフロアパネル
- ◎穿孔可能材：塩ビ管・FRP・スレート・プラ排水マス・プラスチック・樹脂

- ・硬質窯業系サイディングへの穴あけは出来ません。
※サイディングボードに10円玉又は釘等で引っ掻き傷が付かない様でしたら、弊社「ハイパーダイヤコアドリル」を使用してください。
- ・厚さ0.5mm以上の金属サイディング・表面が平らな金属サイディングへの穴あけは出来ません。弊社「ガルバウツドコアドリル」をご使用ください。
- ・A L Cパネルへの穴あけは出来ません。チップポケットからA L Cパネル内の鉄筋が飛び出しA L Cパネルを傷つける可能性があります。弊社「A L C用コアドリル」をご使用ください。
- ・厚い木材の穿孔をする場合は、弊社「ガルバウツドコアドリル」をご使用ください。

● 仕様

刃先径：標準タイプ 22mm～220mm 有効長：標準タイプ 130mm
 ショートタイプ 32mm～160mm ショートタイプ 80mm
 シャンク：ポリクリックシャンク S、L、X

● センタードリル、ポリクリックガイドバー

品名	品番	適合カッター	適合刃先径 (mm)	ドリル径X全長 (mm)
センタードリル(ハイス)	PCWSCD225	標準タイプ	22～220	9.3X225
超硬鋭角センタードリル	PCBHCD225			10.0X225
超硬センタードリル	PCHWCD225			10.0X225
ポリクリックガイドバー250	PCGWGB			-
センタードリル80L (ハイス)	PCWSCD175	ショートタイプ	32～160	9.3X175
超硬鋭角センタードリル175	PCBHCD175			10.0X175
超硬センタードリル	PCHWCD175			10.0X175
ポリクリックガイドバー175	PCGB175			-

※窯業系サイディングへの穴あけ時は、超硬センタードリルをご使用ください。

● シャンク

ポリクリックシャンク S・L・Xには下表の種類があります。
用途・使用する電動工具に合わせご使用ください。

品名	品番	適合刃先径 (mm)	仕様
Sシャンク	PCSKS	49以下	10mmストレートシャンク
Sシャンク SDSプラス	PCSKSR		SDSプラスシャンク (軽量ハートドリル用)
Sシャンク 200L	PCSKS200	29～49	10mmストレートロングシャンク
Sシャンク SDSプラス 200L	PCSKSR200		SDSプラスロングシャンク
集塵 Sシャンク	PCSKSS	49以下	10mmストレートシャンク
集塵 Sシャンク SDSプラス	PCSKSSR		SDSプラスシャンク (軽量ハートドリル用)
Lシャンク	PCSKL	50～225	13mmストレートシャンク
Lシャンク SDSプラス	PCSKLR		SDSプラスシャンク (軽量ハートドリル用)
Lシャンク(10mm)	PCSKLT	50～80	10mmストレートシャンク
Lシャンク 200L(13mm)	PCSKL200		13mmストレートロングシャンク
Lシャンク SDSプラス 200L	PCSKLR200	50～225	SDSプラスロングシャンク
Lシャンク 200L(10mm)	PCSKLT200		10mmストレートロングシャンク
集塵 Lシャンク	PCSKLS	50～225	13mmストレートシャンク
集塵 Lシャンク SDSプラス	PCSKLSR		SDSプラスシャンク (軽量ハートドリル用)
Xシャンク SDSプラス	PCSKXR	50以上	SDSプラスシャンク (軽量ハートドリル用)
Xシャンク SDS-max 回転モード	PCSKXMXK	50以上(120以上推奨)	SDS-maxシャンク

※ Sシャンクのストレートロングシャンク及び、SDSプラスロングシャンクは、刃先径29mmより小さいサイズの
カッターでは使用できません。

※ Sシャンク充電(品番：PCSKSD)はウッドディングコアドリルには使用できません。



ユーザーと共に歩む

株式会社 **ミヤナガ**

受注センター

受付窓口 ☎0120-81-3875

〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地

商品お問い合わせ窓口 ☎0120-3875-14

URL <http://www.miyana.co.jp>

F A X ☎0120-3875-17

4955700-12

● 使用条件

使用電動工具は下記条件を満たすものをご使用ください。条件を満たさないものは、危険ですので、絶対にご使用にならないでください。

1. クラッチ付き
2. 1500 min⁻¹以下
3. 消費電力450W以上

⚠ 回転モード以外で使用しないでください。

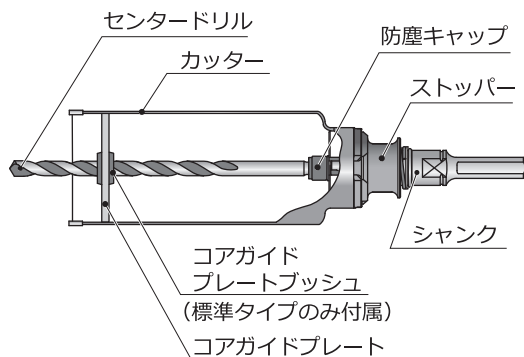
《電動工具の適正回転速度／消費電力の目安》

刃先径(mm)	回転速度(min ⁻¹)	消費電力
22~45	1500~800	450W以上
50~80	1100~700	550W以上
85~125	1100~700	650W以上
130~220	1100~500	750W以上

注意：上記は弊社標準条件における目安です。

穴あけ対象物の材質や固定方法などにより異なります。

● 構成図



※コアガイドプレートブッシュの消耗時は、新品に交換してください。(品番：PCGPB)

使用方法

● 使用方法

- ① 「使用条件」の欄を参考にし、刃先径に適した電動工具を使用してください。
- ② シャックを電動工具に取り付けてください。
※シャックの取り付け方は、ご使用になる電動工具の取扱説明書をご覧ください。
- ③ カッターを取り付けけない状態で右項の「センタードリルの着脱方法」をご覧ください、センタードリルをシャックに取り付けてください。
- ④ 穴あけ位置中心にセンタードリルを当て、電動工具を回転させセンタードリル穴をあけてください。(センタードリル貫通後にカッターが被削材に急激に当たるのを防ぐために、先にセンタードリル穴だけをあけてください。)
- ⑤ カッターのシャックへの取り付けは下項の「カッターの取り付け方法」を参考にして取り付けください。
- ⑥ コアガイドプレートは刃先より少し内側に取り付けください。
※ショートタイプにコアガイドプレートは付属していません。
- ⑦ カッターが被削材に接した後、切削が安定するまで2~3秒程度ゆっくりと切り込んでください。
- ⑧ 穴あけ完了後、カッターは回転させたまま引き抜いてください。
- ⑨ 切削片がカッターより出しにくい場合は、カッターをシャックから外し棒状の物で刃先側へ押し出してください。

● 防塵キャップ

・ポリクリックシャック(S・L・Xシャック)には、センターピンやセンタードリル挿入口へ切粉が入るのを防ぐために防塵キャップが付いています。(下図)

・防塵キャップを装着したままで、センターピン・センタードリルの着脱が可能です。

※単品での発売も行っていません。

Sシャック用 : 品番 PCBCS

L・Xシャック用: 品番 PCBCL

防塵キャップ

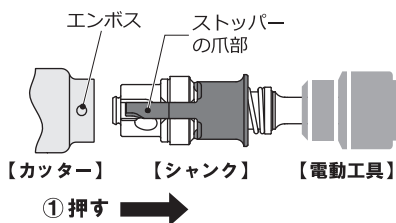


● カッター取り付け方法

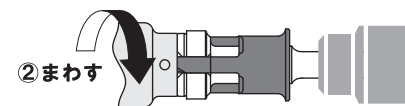
- 1 電動工具にシャックを取り付けてください。

- 2 カッターのエンボス(丸型凸部)をシャックのストッパーの爪部に合わせ、そのままカッターをシャック側(矢印④)に押しします。

注 カッターとシャックに付着している切り粉やごみ等の異物は取り除いてください。

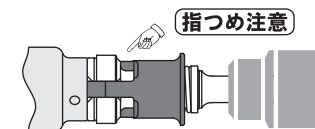


- 3 カッターをシャック端面まで押し込んだ状態で、カッターを刃先側から見て右方向(矢印②)に回してください。



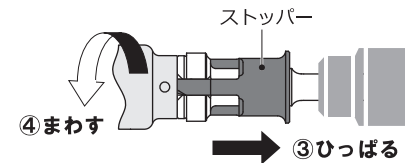
- 4 カチッと音がして、カッターがシャックに固定されます。最後にカッターを引っ張って、しっかりと固定されたことを確認してください。

注 指を挟まれケガをするおそれがありますので、ストッパーの付近に手を添えないでください。



● カッター取り外し方法

- 1 シャックのストッパーを電動工具側(矢印③)に引っ張った状態で、カッターを刃先側から見て左方向(矢印④)に回してください。



- 2 ストッパーを引っ張っている力を少しずつ緩めてください。カッターがストッパーによって押し出され、取り外せます。

注 ストッパーから手を離すとカッターが飛び出すので注意してください。高所作業時は落下のおそれがあるので、特に注意してください。

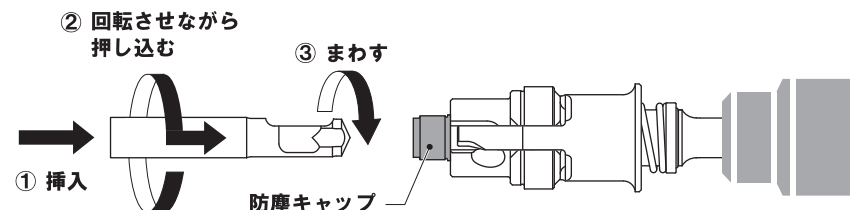


● センタードリルの着脱方法

- ① センタードリルをシャックに挿入してください。(防塵キャップを装着したままでも挿入可能)
- ② センタードリルを回転させながら押し込むと、シャック内の突起とセンタードリルのL型溝の位置が合いセンタードリルはさらにシャックの奥まで入ります。
- ③ センタードリルを奥まで押し込んだ状態で、さらに刃先側から見て右方向(矢印③)に90度回転させて、センタードリルを固定してください。
- ④ 取り付け後、センタードリルを引っ張っても抜けない事を確認してください。

注 センタードリルのシャック挿入部にグリスを塗布してください。センタードリルのL型溝の変形が軽減されます。

- ⑤ 取り外す時は、センタードリルを軽く押し込みながら、刃先側から見て左方向に90度回転させて抜き取ります。(センタードリルは押し込みすぎると回転しません)



紹介動画
公開中

